

1. 会合名	第 44 回理事会
2. 日時	2019 年 12 月 6 日（金曜日） 午後 3 時 55 分～5 時 10 分
3. 議案	第 1 号議案 正会員の入会について 第 2 号議案 あっせん委員候補者推薦委員会委員の選任について 第 3 号議案 2019 年度上半期における紛争解決業務等の状況について 第 4 号議案 2019 年度上半期における紛争解決業務等実施状況の検証について 第 5 号議案 あっせん手続利用者に対するアンケート調査結果について 第 6 号議案 2019 事務年度 監事監査の方針・計画等について 第 7 号議案 その他
4. 主な内容	<p>1. 正会員の入会について</p> <p>正会員の入会について、事務局から説明があり、これを全員に諮ったところ、原案どおり承認された。</p> <p>2. あっせん委員候補者推薦委員会委員の選任について</p> <p>あっせん委員候補者推薦委員会委員の選任について、事務局から説明があり、これを全員に諮ったところ、原案どおり承認された。</p> <p>3. 2019 年度上半期における紛争解決業務等の状況について</p> <p>4. 2019 年度上半期における紛争解決業務等実施状況の検証について</p> <p>2019 年度上半期における紛争解決業務等の状況について及び 2019 年度上半期における紛争解決業務等実施状況の検証について、事務局から一括での説明が行われた。</p> <p>【主な意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 投資信託は銀行でも販売をしていて、全銀協に相談・苦情が行くこともあるが、どういう商品に対して全体でどれだけの相談・苦情件数があるかを横断的に拾えれば全体での把握ができ、幅広い観点から見ることができる。そうした横断的な把握ができないか。 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 投資信託の相談・苦情件数が横断的に把握できるか検討してみる。 ・ 裁判であれば訴訟記録によりその内容が分かるが、あっせんでは具体的な内容が裁判と比べてブラックボックスである。VIX インバースについて 3 点ほど確認したい。 <ul style="list-style-type: none"> ① VIX インバースは「NEXT NOTES S&P500 VIX インバース ETN」が全部か。 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ その通りである。 ② 早期償還して投資額がゼロになり、あっせんにより 6 割程度の額で和解しているが、苦情を申し立ててあっせんに進まない人がいるのはなぜか。 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 定かではないが、損はしたけれども自分は自分なりに判断して買って、

結果は自己責任と考えているので、あえてあっせんを申し立てるまでもないという判断をされている顧客もいると聞いている。

③ VIX インバースは上場により買ってはいけないような人が買ってしまったのか、それとも早期償還が悪かったのか、どこに問題があるのか。

⇒ 問題の所在についてはわかりかねる。

・ VIX インバースの問題は、何が悪かったのかというのは、我々としては簡単に答えが出せない。

・ 販売において適合性原則に問題があるということはほとんどなかったのか。具体的に言えば、訴訟であれば顧客が負けていたという感じだったのか。

⇒ (理事からの回答)

上場商品について、一般的な適合性原則の面で裁判において争った場合どうなるか、正直言ってわからない。

・ VIX インバースを買った人はどのような形で買われたのか。

⇒ FINMAC に相談・苦情を申し出ている者は、対面営業によって買った顧客がほとんどである。

5. あっせん手続利用者に対するアンケート調査結果について

あっせん手続利用者に対するアンケート調査結果について、事務局から説明があった。

6. 2019 事務年度 監事監査の方針・計画等について

2019 事務年度 監事監査の方針・計画等について、村井監事から説明があった。

7. その他

あっせんシステム更改の状況と、当センターが実施する公益目的事業への寄付の受け入れの2点について、事務局から報告があった。

以 上